

# 第3回笛吹市文化施設の在り方に関する検討委員会

## (市内文化施設の視察)

開催日時：令和6年11月8日（金） 午後1時15分 開会

出席者：佐藤委員長、一瀬委員、近藤委員、角田委員、秋田委員、石倉委員、  
山下委員、吉岡委員、須田委員、返田委員（総合政策部長）  
小澤政策課長、政策推進担当 樋川課長補佐、河西主幹、阿部副主幹、  
渡邊主査、角田文化財課長、文化財担当 瀬田課長補佐

欠席者：大川委員、長澤委員、杉山委員、鈴木委員、山寺委員

### 1 視察の目的

市内の文化施設の概要や展示状況などを現地で確認し、今後の在り方検討に生かすため、旧小林家土蔵、笛吹市春日居郷土館・小川正子記念館、笛吹市青楓美術館、釈迦堂遺跡博物館、笛吹市八代郷土館の5施設を視察した。

また、笛吹市春日居郷土館・小川正子記念館、笛吹市青楓美術館、笛吹市八代郷土館の3施設については、より理解が深められるよう、関係者の方から施設への想いやこれまでの経過などを説明する機会を設けた。

### 2 視察内容

#### (1) 旧小林家土蔵

##### ア 概要

石和町出身の実業家小林中の旧邸宅の土蔵。昭和31年に当時の石和町に寄贈され、昭和49年に石和町民俗文化財展示館として開館。1階を展示室、2階を収蔵庫として約750点の民具を収蔵していた。昭和62年に石和町立図書館に歴史民俗資料展示室が設けられたのと同時に閉館となり、現在は倉庫として利用されている。

##### イ 視察時の様子(写真)

##### 【外観の様子】



## 【内部の様子】



### (2) 笛吹市春日居郷土館・小川正子記念館

#### ア 概要

「甲斐国千年の都・縄文の千年」をテーマに甲斐国最古の三重塔復元模型をはじめ、歴史と文化の流れがわかりやすく展示されている。また、ハンセン病患者救済活動で知られる医師・小川正子の貴重な資料も展示されている。

#### イ 視察時の様子(写真)

#### 【外観の様子】



【内部(入口付近)の様子】



【内部（展示室）の様子】



【内部（小川正子記念館）の様子】



### (3) 笛吹市青楓美術館

#### ア 概要

津田青楓(京都府出身の画家)と親交のあった小池唯則氏によって、昭和49年に開館。昭和59年に当時の一宮町に寄贈され、現在に至る。青楓作品900点以上が所蔵され、そのうち約60点が美術館に展示されている。

#### イ 視察時の様子(写真)

##### 【外観の様子】



### (4) 釈迦堂遺跡博物館

#### ア 概要

中央自動車道建設工事に伴い発掘された縄文土器や土偶など国指定重要文化財5,599点を保存・展示する博物館。日本有数の縄文遺跡の出土品が展示されていて、土偶や復元された当時の生活風景などが見学できる。

昭和63年11月3日、旧一宮町及び旧勝沼町の組合立でオープンした施設であり、現在は、笛吹市及び甲州市で組織する一部事務組合の釈迦堂遺跡博物館組合が管理運営を行っている。

#### イ 視察時の様子

##### 【外観の様子】



【内部（展示室）の様子】



(5) 笛吹市八代郷土館

ア 概要

明治18年に建てられた旧大森銀行の建物を活用し、大森銀行の資料や江戸時代からの生活用具、養蚕、稲作道具などを展示している。敷地内には、江戸時代中期の民家も移築してある。

イ 視察時の様子(写真)

【外観の様子】



【内部（入口付近）の様子】



【内部（2階）の様子】



3 その他

- (1) 第4回検討委員会(施設の視察)について事務局から開催日時の候補日を提示した。

5 閉会

午後5時30分 閉会